週刊朝日

大正11年2月15日
第三種郵便物認可 通巻2667号（増刊）
昭和45年2月25日発行
昭和45年2月16日
国鉄関東支社増刊用承認雑誌第5465号

2-25 1970 100円
臨時増刊

S 45

二大特集
❶カラー会場地図パノラマスコープ
❷目的別・日程別・同行者別コース案内

ガイド 日本万国博

©朝日新聞社 1970年

見物とは歩くこと

加藤秀俊

博覧会の会場というのは、ふしぎな空間である。建物がいずれもやたらに大きく、それが隣接してたくさんならんでいる。しかも、それぞれの建物は奇抜な色やデザインでひとを驚きつける。したがって、博覧会場に足をふみ入れた人間は、つぎからつぎへと眼に映るパビリオンをさきよい歩くことになる。博覧会場を見物に行くということは、そんなわけで、「歩く」ということを意味する。

足があるのだから、歩くのはあたりまえじゃないか、といわれるかもしれぬ。しかし、この歩行距離たるや、じつのところ、きわめて非日常的な長距離になってしまうものなのだ。

右にのべたように、空間に変化があり、どっちをむいてもおもしろそうなものばかりだから、つい歩いてしまうのだけれど、ふと気がついてみると、一日、会場にいるだけで二十キロぐらい歩いているのである。

ちょうど、おいしそうなごちそうがたくさん並んでいると、つい食べすぎてしまうのとおなじようなもので、博覧会場では、歩きすぎ症状を呈する人が続出するであろう。若ものたちには、苦にならないかもしれぬが、子どもや老人には、これは、とうていできないことだ。

したがって歩きすぎを避けることを、あらかじめよく考えておくほうがよい。べつなことばでいえば、どこかひとつのゾーンをえらんで、そのゾーンのなかだけをゆっくりと見物するのである。あっちがおもしろそうだ、こっちにも行きたい、というので会場内をあちこち移動していたら、その移動だけで心身ともに消耗してしまうにちがいない。

だいたい、敷地面積百万坪というのが、われわれの日常感覚を絶しているのである。そこを、歩きまわるというのが、はじめから無理な相談なのである。あれもこれもと欲張りたくなるのは人情というものだろうが、万国博は、日常の人間的スケールではとうていこなし切れるものではないのである。人間、わが身の限界を心得て、暴飲暴食をつつしむにしたことはない。博覧会は、うっかりすると、経験の食べすぎになってしまうものなのである。

（京大助教授）

日本万国博覧会のあらまし

〈種類〉国際博覧会条約にもとづく第一種一般博覧会

〈開催年〉一九七〇年（昭和四十五年）

〈会期〉三月十五日～九月十三日（六カ月間）

〈テーマ〉人類の進歩と調和

〈会場〉大阪府下千里丘陵

〈面積〉約三百三十万平方㍍（約百万坪）

〈予想入場者〉延べ五千万人（うち外国人百万人）

週刊朝日臨時増刊　ガイド日本万国博

会場地図パノラマスコープ

制作　松田鶴雄

カラー

太陽の塔……3　パビリオン群像……4　世界のまつり……107　〝未来〟の競作……108　美術の歴史……110　民族のいのり……114　空中ビュッフェ……11　宇宙船から人間洗濯機まで……12　参加する芸術……14　多彩なオブジェ……16　エキスポランドはチビッ子天国……102　サービス施設拝見……103　おまわりさんの曲芸も……104　55

グラビア

見物とは歩くこと……加藤秀俊……19

【話の交差点】……20

テーマ「進歩と調和」のさまざまな変奏……22

全パビリオン見どころ集　月の石、ロボット、多様な映像……26

会場よろず心得帳　賢い観客になる方法　入場券の買い方から迷子の捜し方まで……32

入場券、有料施設、開閉時間、交通、案内板、乗物、赤ちゃんづれ、待合せ、ごみ捨場、駐車場、車の整備、荷物あずけ、迷子、落し物、急病、持参品、にわか雨、休憩所、ホステス、電話・電報、宿、通訳、身障者、問合せ

コース案内　日程・同行者・地域・目的・趣味別

①家族づれで楽しむ人のために……38

一日、二日、五日、子どもづれ、中・高校生、女性、アベック、お年寄り、北米、中南米、社会主義国、東南アジア、アフリカ、モントリオール博ベスト10、博覧会先輩国、国際機構

②系統だてて見物する人のために……67

音楽好き、美術・写真ファン、変った映画、造形、建築、民族舞踊、民芸品、散策・瞑想、世界宗教、未来学、宇宙航空開発、情報化時代、農業、漁業、海洋開発、河川開発、鉱物資源開発、森林開発、原子力開発、公害研究、乗物ファン、動物好き、飲んべ、珍しい土地探検、スポーツファン、くらしと健康、漫画・動画、碁・マジック・ゲーム、切手マニア、自然、歴史、有名人の業績・遺品、展望、でっかいもの、夜間

【エキスポ見本市】食べる楽しみとショッピングのコツ……83

【催し物一覧表】世界の行事・芸術がやってくる……93

万国博ホール、野外劇場、お祭り広場、水上ステージ、フェスティバルホール。ナショナル・デー、スペシャル・デー。万国博美術館。記念講演会

【表紙】スイス館を背にしたエスコートガイド。先頭は本誌マスコットの幸恵　撮影・小川隆之

写真撮影・出版写真部、本社写真部　写真提供・朝日放送、オリオンプレス、カラリー・ライブラリー、仁田三夫、座右宝刊行会、美術出版社、西洋美術館